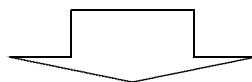


学力状況調査の結果の概要

< 小学校国語 >

<p>国語 A (知識)</p>	<p>「国語 A 知識」については、概ね定着が図られている。 「話すこと・聞くこと」については、改善が必要である。 「書くこと」については、定着が図られている。 「読むこと」については、概ね定着が図られている。 「言語事項」については、定着が図られている。</p>	<p>国語 B (活用)</p>	<p>「国語 B 活用」については、改善が必要である。 「話すこと・聞くこと」については、概ね定着が図られている。 「書くこと」については、改善が必要である。 「読むこと」については、改善が必要である。 「言語事項」については、概ね定着が図られている。</p>
<p>課 題</p>	<p>文と文との意味のつながりを考えながら接続語を正しく使うことなどは、大部分の児童ができているが、次のことなどに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を書くこと ・ 話の要点を聞き取り、効率よくメモをとること 	<p>課 題</p>	<p>聞き手の反応を見て、調整しながら話すことなどは、大部分の児童ができているが、次のことなどに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文で述べている事柄の理由を要約することや資料から必要な事柄を取り出して与えられた条件に即して書き換えること ・ 二つの文章に共通するよさや工夫を見付け、自分の考えをまとめること



<p>改善の 方向</p>	<p>相手や目的に応じて適切に話したり、相手の意図をつかみながら聞くことや、計画的に話し合うことの指導の充実 書く目的や意図を明確にし、自分の考えを筋道を立てて書いたり、簡単にまとめたり、詳しく書いたりする指導の充実 資料と関連づけながら文章を読み取ったり、叙述や構成に着目して、内容を押さえながら要旨をとらえたりする指導の充実 文脈に沿って漢字を活用したり、言葉に対する知識を定着させたりするための言語活動の充実</p>
-------------------	--